



8店舗目となるサテライト店を出店

10月24日(火)、「京王百貨店 ららぽーと立川立飛店」をオープンします

株式会社京王百貨店（本社：東京都新宿区、社長：仲岡一紀）は、10月24日（火）に、東京都立川市の商業施設「ららぽーと立川立飛」に8店舗目となるサテライト店を出店します。

1. 出店の背景と経緯

当社は、基幹店である京王線新宿駅ターミナルビルの「新宿店」と、多摩市・聖蹟桜ヶ丘駅の京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター内の「聖蹟桜ヶ丘店」の2店舗により、京王沿線エリアを中心にお客様の毎日の暮らしを彩る価値の提供に努めています。

サテライト店事業については、ギフトといった百貨店の機能や食物販など当社の強みを出店先の商圈特性にあわせてコンパクトに編集し、2009年の「ららぽーと新三郷店」を皮切りに順次出店を進め、現在7店舗を展開しています。近年は、京王沿線や新宿駅を発着する路線を中心としたエリアでのさらなる顧客接点の拡充に向けて出店を進め、新規顧客開拓や基幹店との連携、既存顧客の利便性向上を推進しています。

「ららぽーと立川立飛」は、2015年の開業以来、周辺住民に支持されてきた大規模商業施設です。当社の出店により、百貨店ならではの品ぞろえ・サービスが「ららぽーと立川立飛」内でそろそろワンストップショッピングのさらなる充実に寄与することで、地域の利便性向上、顧客ニーズへの対応に努めます。

2. 店舗概要



【京王百貨店 ららぽーと立川立飛店 完成イメージ】

<店舗概要>

店舗名称	京王百貨店 ららぽーと立川立飛店
所在地	東京都立川市泉町 935-1 ららぽーと立川立飛 1階
売場面積	約 199 m ²



(1) コンセプト

「百貨店による食・ギフト・ファッションのセレクトショップ」

- 百貨店ならではの多彩な食品とイベントの展開
- 慶弔ギフトや中元・歳暮をはじめとした百貨店の信頼あるギフトサービスの提供
- 毎日の暮らしを彩る雑貨とファッションの展開

(2) ターゲット

「ららぽーと立川立飛」の中心顧客であるファミリー層をメインターゲットに、さまざまな「ギフト」や「食」「雑貨」を便利にお買い物したい親子三世代

(3) 取扱ブランド・商品

- 食 品：ヨックモック、アンリ・シャルパンティエ、銀座千疋屋、新宿高野、シーキューブ、シュガーバターの木、赤坂柿山、鎌倉五郎本店
- 生活雑貨：生活の木、近沢レース店
- ファッション：婦人服、マフラー・ストール、ショッピングバッグ、手袋など
- その他：カタログギフト、線香

【参考】株式会社京王百貨店 店舗概要

総店舗数：9店舗

●主要店舗 2店舗

- ・新宿店（東京都新宿区）
- ・聖蹟桜ヶ丘店（東京都多摩市）

●サテライト店 7店舗

- ・ららぽーと新三郷店（埼玉県三郷市、2009年9月開業）
- ・セレオ八王子店（東京都八王子市、2012年10月開業）
- ・昭島モリタウン店（東京都昭島市、2016年10月開業）
- ・キラリナ京王吉祥寺店（東京都武蔵野市、2017年9月開業）
- ・トリエ京王調布店（東京都調布市、2017年9月開業）
- ・サテライト橋本店（神奈川県相模原市、2021年4月開業）
- ・ぷらりと京王府中店（東京都府中市、2023年3月開業）

